

## 岩手県 I 援隊化構想

### < I 援隊とは >

- I 援隊とは、海援隊のもじり。
- I は岩手。「愛」もかけてある。I 援隊とは、I を援ける、というより I から援ける隊。

### < I 援隊の使命 >

- 「ゆたかさ」、「つながり」、「ひと」をはぐくむことが I 援隊の使命。
- 厳密には、「ひと」をはぐくむことと「つながり」をはぐくむことで「ゆたかさ」をはぐくむこと。
- 簡単に言うと、人のつながりで豊かさを実現すること。
- 海援隊も、向上心・向学心に燃える人のつながりで豊かさを追求する、教育機関でありネットワークであり総合商社であった。同時に、人々の意識を改革し、社会や国を改革するさきがけであった。

### < I 援隊の今日的な意義 >

- I 援隊は、「真の豊かさをクリエイトする開かれた共同体」であり、21世紀の地方行政のビジネスモデルたるべき「コミュニティ・ソリューションの公的事業体」である。
- 21世紀は、商人資本→工業資本→金融資本→情報資本と来て、情報資本の時代である。I 援隊は、情報という資本を富に変える中心になる。
- 21世紀にふさわしい理念は、自立と共生、社会を守ることで個人を守る創造的自由主義の理念である。I 援隊は、創造的自由主義をリードする。

### < I 援隊の活動 >

- I 援隊は、人と世の中のあるべき姿をビジョンとして提示し、合意に基いて資金を調達し、「ひと」と「つながり」に投資をして、「ゆたかさ」をはぐくむ。
- I 援隊は開かれた結社であり、志を同じくして共に活動するものは、誰でも（県職員じゃなくても）I 援隊の隊員になれる。

### < I 援隊化した岩手県の未来 >

- I 援隊化した岩手県は、県ぐるみで脱藩ならぬ脱県を果たす。幕末の雄藩が率先して版籍奉還、廃藩置県を進めたように、今日の雄県・岩手県は、率先して古い県から脱皮する。
- 脱県して自由になった岩手県は、日本を洗濯したり、世界の平和や繁栄に貢献するなど、全地球規模で活躍する。